

2021年12月16日

K u d a n株式会社

Artisense の SLAM 技術が自動車向けナビゲーションシステムや 地図データの国際規格団体 NDS の記事で推奨されました

様々な場面で使用可能な SLAM 技術のリーディングプロバイダである K u d a n 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：項 大雨、以下 Kudan）は、グループ会社の Artisense GmbH（以下 Artisense）、HD マップ世界大手の HERE Technologies 及び欧州自動車 Tier1 サプライヤである NNG との共著であるホワイトペーパー^{※1}が、ナビゲーションシステムや地図データの規格（スタンダード）策定・導入を促進する自動車業界の企業で構成された国際的な団体である NDS^{※2}（Navigation Data Standard e.V.）がまとめた SLAM 技術や VIO（Visual Inertial Odometry）技術の重要性に関する記事に掲載されましたのでお知らせいたします。

本記事では、Artisense のホワイトペーパーを参照しながら、今後の HD マップやナビゲーションシステムの実現には、SLAM 技術や VIO 技術による車両の位置情報や物体の高精度かつ安定的な認識が必要不可欠であることが紹介されており、Artisense の SLAM 技術の業界における認知度と信頼度のさらなる向上も期待できます。

▼▼NDS が公開したブログ記事は以下をご確認ください（英語のみ）▼▼

[Vehicle positioning based on Visual Inertial Odometry \(VIO\) gains importance](#)

Artisense は引き続き、HERE と NNG のほか、NDS に参画する自動車 Tier 1 サプライヤや自動車 OEM、その他の自動車・モビリティ関連企業と積極的な連携を図りつつ、Kudan グループ全体として SLAM 技術のグローバルでの普及促進・デファクトスタンダード化に向けて邁進してまいります。

また、世界的な新型コロナ感染の継続による自動運転・自律走行等の非対面・非接触のニーズのさらなる高まりや、人々の意識や体験をデジタル世界と融合させる AR/VR 等のメタバース技術に対するニーズの急速な拡大を受け、Kudan 及び Artisense は、このような技術の新潮流における競争優位性の継続的な確立と高度な付加価値の創出を実現し、グローバルにおける両社技術の社会実装を加速してまいります。

※1 ホワイトペーパー発表についての詳細は[こちら](#)よりご確認ください。

※2 活動詳細や参画企業などについては[ウェブサイト](#)（英語のみ）をご覧ください。

【Artisense Corporation について】

Artisense はコンピュータビジョンとセンサを融合したソフトウェア会社です。ロボット、車両、空間知能における様々なアプリケーションの自動化に向けて、カメラをリードセンサとして活用しながら、統合型のポジショニング・プラットフォームを開発しています。自律型ロボットや機械の普及の加速化に貢献することをミッションとして、Artisense は、あらゆる空間において、高精度でロバスト性に優れ、安全且つ低コストのナビゲーションを実現する製品と技術を提供しています。

詳細な情報は、Artisense のウェブサイト (<http://www.artisense.ai/>) をご参照ください。

【K u d a n 株式会社について】

Kudan (東証上場コード: 4425) は機械 (コンピュータやロボット) の「眼」に相当する人工知覚 (AP) のアルゴリズムを専門とする Deep Tech (ディープテック) の研究開発企業です。人工知覚 (AP) は、機械の「脳」に相当する人工知能 (AI) と対をなして相互補完する Deep Tech として、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudan は高度な技術イノベーションによって幅広い産業にインパクトを与える Deep Tech に特化した独自のマイルストーンモデルに基づいた事業展開を推進しています。

詳細な情報は、Kudan のウェブサイト (<https://www.kudan.io/?lang=ja>) をご参照ください。

■会社概要

会 社 名 : K u d a n 株式会社
証券コード : 4425
代 表 者 : 代表取締役 CEO 項 大雨

■お問い合わせ先は [こちら](#)

